

【別紙 1-7】

B型・C型肝炎患者に対する偏見や差別についての実態調査

平成24年2月

患者調査

「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」班
代表 学習院大学法科大学院 教授 龍岡 資晃

この調査は、当研究班が、厚生労働省の平成23年度厚生労働科学研究費補助金を受けて行う「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究」において、ガイドライン作成の前提である肝炎患者（以下、無症候性キャリアを含め、「肝炎患者」と言います。）に対する偏見や差別の実態を把握するための調査として行うものです。

この研究は、B型・C型肝炎患者に対する偏見や差別の実態を把握し、これを医学的及び法律的観点から分析・検討して偏見や差別を防止するためのガイドラインを作成し、これにより肝炎患者に対する偏見や差別をなくし、肝炎に対する理解を深め、肝炎に対する正しい知識の普及と啓発を図ることを目的としています。

この調査のための調査票の印刷・発送、調査結果の入力・集計業務は、㈱インテージおよび㈱インテージリサーチに委託しております。㈱インテージは、昭和35年設立以来、市場調査・世論調査を行っている調査の専門機関です。

この実態調査につきましては、個人情報関係の法令を順守し、ご回答いただきました情報は、この研究の目的以外には一切使用いたしません。

以上、調査の趣旨をご理解いただき、質問事項にお答えいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

研究班の構成は、次のとおりです。

龍岡資晃 (代表)	学習院大学法科大学院・教授(弁護士)
川上拓一	早稲田大学法学部・教授
北濱昭夫	大船中央病院・特別顧問(医師)
齋藤政樹	東武練馬中央病院・医師
多田羅浩三	日本公衆衛生協会・理事長
田中純子	広島大学大学院医歯薬学総合研究科・教授
戸松秀典	学習院大学法科大学院・教授(弁護士)
山川洋一郎	古賀総合法律事務所・パートナー弁護士
山本晋平	古賀総合法律事務所・弁護士
西柳 宏	東京大学医学部感染症内科・准教授
米澤牧子	東京肝臓友の会・事務局長
(研究協力者) 久保山力也	青山学院大学大学院法務研究科専任助手

研究班代表者 龍岡資晃

アンケートの記入方法のお問合せ先は以下の通りです。

㈱インテージリサーチ メールセンター

担当：田畑 (タバタ)

電話：0120-483-433 (フリーダイヤル)

受付時間：午前9:30～午後5:30 (土日祝日を除く)

ご回答につきまして

ご記入が済みましたら、記入もれがないかご確認のうえ、返送用封筒（切手不要）にて
3月16日(金)までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

- ★ お答えは、鉛筆か、黒または青のボールペンでご記入ください。
- ★ お答えの内容によって、質問をとばしていただく場合があります。その場合は、指示に従ってお進みください。
- ★ ご回答が「その他」の場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
- ★ ご回答は、あてはまる番号に○印をつけていただくものと、文字、数字をご記入していただくものがあります。また、質問によっては
 - ・回答がひとつだけのもの（○はひとつだけ）
 - ・複数お答えいただくもの（○はいくつでも）
 - ・横の行にひとつずつのもの（○はヨコの行にひとつずつ）
 といった複数種類のご回答方法がありますので、ご注意ください。※詳しくは下記【回答方法例】をご覧ください。

【回答方法例】

問1 あなたの性別をお教えてください。（○はひとつだけ）

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたが現在同居している方をすべてお教えてください。（○はいくつでも）

1. 配偶者	7. 既婚の子ども	13. 配偶者の兄弟・姉妹
2. 父	8. 祖父	14. 親族
3. 母	9. 祖母	15. 恋人
4. 配偶者の父	10. 小学生以下の孫	16. 友人
5. 配偶者の母	11. 中学生以上の孫	17. その他
6. 未婚の子ども	12. あなたの兄弟・姉妹	18. 同居なし（一人暮らし）

問3 以下のそれぞれについて、あなたにあてはまるものをお答えください。（○はヨコの行に1つずつ）

	とてもあてはまる	まああてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1. 社会的である	1	2	3	4	5
2. 流行に敏感である	1	2	3	4	5
3. 他人の影響を受けやすい	1	2	3	4	5
4. 自分に自信があるほうだ	1	2	3	4	5
5. 消極的である	1	2	3	4	5

※「1. 社会的である」という問いに対し、右の5つのうち「とてもあてはまる」に該当する場合「1」に○をし、次に、「2. 流行に敏感である」という問いに対し、「あまりあてはまらない」に該当する場合「4」に○をし…というように、順に回答します（上のような場合、「1. 社会的である」から「5. 消極的である」まで5つ問題について、それぞれ「とてもあてはまる」、「まああてはまる」、「どちらともいえない」、「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」から1つずつ選択します）。

設問 1 ここでは、あなたの現在の状況についてお伺いいたします。

問 1-1 あなたの状態は、次のうちどれに該当しますか。(1) と (2) の両方にお答えください。

(1) (○はひとつだけ)

1. 無症状性キャリア	2. 慢性肝炎	3. 肝硬変	4. 完治した	5. わからない
-------------	---------	--------	---------	----------

(2) (○はひとつだけ)

1. 肝がんあり (既往を含む)	2. 肝がんなし
------------------	----------

※問 1-1 (1) で「4. 完治した」に○をつけた方は、患者であった当時のご経験を踏まえて、以下の質問にお答えください

問 1-2 あなたの肝炎は、次のうちどれを直接的な原因とするものですか。(○はひとつだけ)

1. B型肝炎ウイルス	2. C型肝炎ウイルス (既往感染を含む)	3. B型肝炎ウイルスと C型肝炎ウイルスの両方
-------------	-----------------------	--------------------------

問 1-3 あなたの肝炎は、次のうちどのような経緯あるいは原因によるものですか。(○はいくつでも)

1. 輸血	4. 他人の使用した注射針の使用	7. 不明
2. 血液製剤の使用	5. 母子感染	8. 答えたくない
3. 汚染した針 (注射針を除く) などによる刺傷	6. 性行為	9. その他、※具体的に書きください
()		

問 1-4 あなたは現在、どのような治療を受けていますか。(○はいくつでも)

1. インターフェロン治療	2. 核酸アナログ製剤治療	3. 今は治療していない
4. その他 ※具体的に書きください。		
()		

問 1-5 あなたは、肝炎患者として、「1.日常生活」や「2.学校生活」、「3.職業生活」において不安を感じていますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	大変不安を感じている	多少は不安を感じている	どちらともいえない	あまり不安を感じていない	全く不安を感じていない	あてはまらない
1. 日常生活	1	2	3	4	5	6
2. 学校生活	1	2	3	4	5	6
3. 職業生活	1	2	3	4	5	6

問 1-6 あなたは、**肝炎患者として**、下記の諸項目について不安を感じていますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	大変不安を感じている	多少は不安を感じている	どちらともいえない	あまり不安を感じていない	全く不安を感じていない
1. 現在の体調	1	2	3	4	5
2. 病気の進行	1	2	3	4	5
3. 病院の医療体制	1	2	3	4	5
4. 主治医	1	2	3	4	5
5. 薬剤の副作用	1	2	3	4	5
6. 治療費	1	2	3	4	5

問 1-7 あなたは**肝炎患者であることを理由として**、今までに下記のような経験をしたことがありますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	明確に経験した	明確ではないが経験した	経験していない	あてはまらない
1. 陰口をたたかれた	1	2	3	4
2. 学校でいじめにあった	1	2	3	4
3. 職場で不当、不可解な扱いを受けた	1	2	3	4
4. 入学・入園時に不利益を受けた	1	2	3	4
5. 就職時に不利益を受けた	1	2	3	4
6. 恋愛で辛い経験をした	1	2	3	4
7. ネスを拒否された	1	2	3	4
8. 性行為を拒否された	1	2	3	4
9. 妊娠・出産をあきらめた	1	2	3	4
10. 結婚を拒否された	1	2	3	4
11. 離婚した	1	2	3	4
12. 海外旅行を断念した	1	2	3	4
13. 健康診断時に不利益を受けた	1	2	3	4
14. 入院診療を拒否された	1	2	3	4
15. 外来診療を拒否された	1	2	3	4
16. 施設への入所を拒否された	1	2	3	4
17. 民間の保険加入を断られた	1	2	3	4
18. 解雇された	1	2	3	4
19. 握手を断られた	1	2	3	4
20. 食事を断られた	1	2	3	4
21. 面会を断られた	1	2	3	4
22. その他 ※具体的にお書きください。	()			

問 1-8 以下の質問にお答えください。

問 1-8-1 あなたは、あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として、直接的あるいは間接的に、「侮辱的、侮蔑的な発言を受けた」ことがありますか。(○はひとつだけ)

1. ある →問 1-8-2へ	2. ない →問 1-8-3へ
--------------------	--------------------

【前問(問 1-8-1)で 1. あるとお答えの方は問 1-8-2へ、2. ないとお答えの方は問 1-8-3へお進みください】

問 1-8-2 それは具体的に「1.どのような場面」で、「2.誰の」、「3.どのような発言」でしたでしょうか。
最も記憶に残っている出来事を以下に記入して下さい。

1. どのような場面で →
2. 誰の →
3. どのような発言 →

→問 1-9へお進みください

問 1-8-3 あなたは、あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として、直接的あるいは間接的に、「発言以外に精神的に傷つけられた」ことがありますか。(○はひとつだけ)

1. ある →問 1-8-4へ	2. ない →問 1-9へ
--------------------	------------------

【前問(問 1-8-3)で 1. あるとお答えの方は問 1-8-4へ、2. ないとお答えの方は問 1-9へお進みください】

問 1-8-4 それは具体的に「1.どのような場面」で、「2.誰の」、「3.どのような行為」でしたでしょうか。
最も記憶に残っている出来事を以下に記入して下さい。

1. どのような場面で →
2. 誰の →
3. どのような行為 →

【引き続き、全員の方がお答えください】

問 1-9 あなたは「肝炎患者への偏見や差別の防止を目的とする」下記の諸活動に、積極的に関与していますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	積極的に 関与している	経験はあるが 誘われれば 関与する程度	経験はあるが できるだけ 関わりたくない	経験はないが 関与したい	経験はなく 興味もない
1. 患者コミュニティへの参加	1	2	3	4	5
2. 患者団体主催の啓発活動等の イベントへの参加	1	2	3	4	5
3. 行政主催の啓発活動等の イベントへの参加	1	2	3	4	5
4. 行政機関等への要望	1	2	3	4	5
5. インタビューや取材	1	2	3	4	5
6. 偏見や差別に関する裁判活動 への参加	1	2	3	4	5

問 1-10 あなたは「肝炎に関し」、下記の諸項目について積極的な情報収集を行っていますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	積極的に 行っている	多少は 行っている	どちらとも いえない	ほとんど 行っていない	全く 行っていない
1. 治療法 (薬剤等を含む)	1	2	3	4	5
2. 病院	1	2	3	4	5
3. 医師	1	2	3	4	5
4. 公的医療保険制度	1	2	3	4	5
5. 医療費助成制度	1	2	3	4	5
6. 患者会等への参加	1	2	3	4	5
7. 関連した裁判	1	2	3	4	5

問 1-11 あなたは「肝炎患者として」、下記のことにおいて、障害ないし負担を感じますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	大いに 感じる	多少は 感じる	ほとんど 感じない	全く 感じない	あてはま らない
1. 肝炎治療のために病院に行くこと	1	2	3	4	5
2. 肝炎以外の病気・怪我で病院に行くこと	1	2	3	4	5
3. 健康診断を受けること	1	2	3	4	5
4. キスをすること	1	2	3	4	5
5. 性行為を行うこと	1	2	3	4	5
6. 肝炎であることを知っている友人と会食すること	1	2	3	4	5
7. 肝炎であることを知らない友人と会食すること	1	2	3	4	5
8. 不特定多数の人がいる温泉や公衆浴場へ行くこと	1	2	3	4	5
9. テレビや新聞で肝炎差別に関する報道を見ること	1	2	3	4	5
10. 家族・親族との日常生活	1	2	3	4	5

設問 2 ここでは、**偏見や差別**についての**見方・考え方**をお伺いします。

問 2-1 あなたは以下の諸項目が、**肝炎患者に対する偏見や差別の解消のため**に、どのくらい効果的であると思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	大変効果的	多少は効果的	どちらともいえない	あまり意味がない	全く意味がない
1. 国や地方自治体による啓発活動	1	2	3	4	5
2. 法律による禁止(罰則なし)	1	2	3	4	5
3. 法律による禁止(罰則あり)	1	2	3	4	5
4. 裁判例の積み重ね	1	2	3	4	5
5. 患者団体による啓発活動	1	2	3	4	5
6. 患者個人による啓発活動	1	2	3	4	5
7. 行政機関への要望	1	2	3	4	5
8. 弁護士等への法律相談	1	2	3	4	5
9. 学校における教育	1	2	3	4	5
10. 職場における啓発活動	1	2	3	4	5
11. その他 ※具体的に書きください。 ()					

問 2-2 あなたは、どのような理由で**肝炎患者に対する偏見や差別**が生じると思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	大いに該当する	ある程度該当する	どちらともいえない	ほとんど該当しない	全く該当しない
1. 簡単に感染すると思われているため	1	2	3	4	5
2. 性感染症と同一視されているため	1	2	3	4	5
3. 治療が困難であるため	1	2	3	4	5
4. 生活態度に問題があり感染したと思われているため	1	2	3	4	5
5. 学校や職場等の組織の理解が不足しているため	1	2	3	4	5
6. 日本社会に差別的傾向があるため	1	2	3	4	5
7. 誤解を生む報道がされているため	1	2	3	4	5
8. 誤解を生む教育がされているため	1	2	3	4	5
9. これまでに偏見や差別を感じたことはない	1	2	3	4	5
10. その他 ※具体的に書きください。 ()					

問 2-3 あなたが肝炎であることは、誰が知っていますか。(○はいくつでも)

1. 同居家族	4. 親友	7. その他 (1~6 以外) の人
2. 親戚	5. 友人一般	8. 誰も知らない
3. 配偶者	6. 職場や学校等の周囲の人	9. わからない

問 2-4 あなたはあなた自身が肝炎患者であることについて、下記の人々に知られても構わないと考えますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	絶対秘密にしたい	できるだけ知られたくない	積極的ではないが知られてもよい	むしろ積極的に伝えたい	該当する人がいない
1. 父親	1	2	3	4	5
2. 母親	1	2	3	4	5
3. 子ども	1	2	3	4	5
4. 兄弟・姉妹	1	2	3	4	5
5. 祖父・祖母	1	2	3	4	5
6. 親戚	1	2	3	4	5
7. 配偶者	1	2	3	4	5
8. 恋人	1	2	3	4	5
9. 友人	1	2	3	4	5
10. 職場の上司	1	2	3	4	5
11. 職場の同僚	1	2	3	4	5
12. 学校の教師	1	2	3	4	5

問 2-5 あなたはあなた自身が肝炎患者であることについて、医療者を除き(親や子など近親者は含みます)、およそどのくらいの人があることを知っていると思いますか。(回答は数字で)

約 名程度

問 2-6 あなたは、B型肝炎あるいはC型肝炎患者が、B型肝炎やC型肝炎に感染していることを知られたくないと思うのは、どのような理由からだと思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	そう思う	多少はそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そうは思わない
1. 憐れみ、同情されるから	1	2	3	4	5
2. 人間関係が壊れる恐れがあるから	1	2	3	4	5
3. 不利な扱いをされる恐れがあるから	1	2	3	4	5
4. いろいろと気を遣わせてしまうから	1	2	3	4	5
5. 人格について誤解を生じる恐れがあるから	1	2	3	4	5
6. 嫌われるから	1	2	3	4	5
7. その他 ※具体的にお書きください。					

()

問 2-7 あなたは「肝炎患者に対する偏見や差別防止のために」、どのような機関がどのようなことをすることが望ましいと考えますか。以下に具体的に記入してください。

--

問 2-8 あなたは下記の差別問題が生じる原因として、「知識不足」、「心の問題」、「制度的不備」のうち、どれが最も大きく関わっていると思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	知識不足の面が大きい	心の問題が大きい	制度的不備の面が大きい
1. 男女差別	1	2	3
2. 部落差別	1	2	3
3. 身体障害者差別	1	2	3
4. 精神障害者差別	1	2	3
5. 性感染症患者差別	1	2	3
6. 外国人差別	1	2	3
7. 学歴差別	1	2	3
8. 高齢者差別	1	2	3
9. アイス差別	1	2	3
10. 職業差別	1	2	3
11. 宗教差別	1	2	3
12. 肝炎患者差別	1	2	3

問 2-9 あなたが「肝炎患者として」、肝炎ウイルスに感染していることを理由に下記のようなことに直面した場合、極めて重大な偏見・差別的取扱いでと思われる順に「5つ」順番に数字で回答ください。

1. 陰口をたたかれる	7. キスを拒否される	13. 入院診療を拒否される	19. 食事を断られる
2. 学校でいじめにあう	8. 性行為を拒否される	14. 外来診療を拒否される	20. 面会を断られる
3. 職場で不当、不可解な偏見を受ける	9. 妊娠・出産をあきらめさせられる	15. 施設への入所・利用を拒否される	21. その他 ※具体的に書きください ()
4. 入学・入園時に不利益を受ける	10. 結婚を拒否される	16. 民間の保険加入を断られる	
5. 就職時に不利益を受ける	11. 海外旅行を断念させられる	17. 解雇される	
6. 恋愛で辛い経験をする	12. 健康診断時に不利益を受ける	18. 握手を断られる	

※上記 1～21.の数字を記入ください

1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

問2-10 あなたが下記のような行為に直面した場合、それほどの程度、あなたが肝炎患者であることと関わっていると考えますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	絶対に 関わって いる	おそらく 関わって いる	どちら とも いえない	おそらく 関わって いない	全く 関わって いない	あてはま らない
1. 陰口をたたかれる	1	2	3	4	5	6
2. 学校でいじめにあう	1	2	3	4	5	6
3. 職場で不当、不可解な扱いを受ける	1	2	3	4	5	6
4. 入学・入園時に不利益を受ける	1	2	3	4	5	6
5. 就職時に不利益を受ける	1	2	3	4	5	6
6. 恋愛で辛い経験をする	1	2	3	4	5	6
7. キスを拒否される	1	2	3	4	5	6
8. 性行為を拒否される	1	2	3	4	5	6
9. 妊娠・出産をあきらめさせられる	1	2	3	4	5	6
10. 結婚を拒否される	1	2	3	4	5	6
11. 海外旅行を断念させられる	1	2	3	4	5	6
12. 健康診断時に不利益を受ける	1	2	3	4	5	6
13. 入院診療を拒否される	1	2	3	4	5	6
14. 外来診療を拒否される	1	2	3	4	5	6
15. 施設への入所・利用を拒否される	1	2	3	4	5	6
16. 民間の保険加入を断られる	1	2	3	4	5	6
17. 解雇される	1	2	3	4	5	6
18. 握手を断られる	1	2	3	4	5	6
19. 食事を断られる	1	2	3	4	5	6
20. 面会を断られる	1	2	3	4	5	6

問2-11 肝炎患者であることを理由に、下記の機関等による差別的な取扱いを受けたと想定してください。

問2-11-1 あなたなら最初どのように対応しますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

	あきらめる	家族に 相談する	知人や友人に 相談する	関係機関に 相談する	裁判に訴える
1. 行政機関による差別	1	2	3	4	5
2. 職場または学校による差別	1	2	3	4	5
3. 医療機関による差別	1	2	3	4	5
4. 地域社会による差別	1	2	3	4	5
5. 知人・友人からの差別	1	2	3	4	5
6. 家族・親族からの差別	1	2	3	4	5

問2-11-2 前問(問2-11-1)において「あきらめる」以外に回答された方にお伺いします。

もしそうした対応により問題が解決しなかった場合、次にどのように対応しますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	あきらめる	家族に 相談する	知人や友人に 相談する	関係機関に 相談する	裁判に訴える
1. 行政機関による差別	1	2	3	4	5
2. 職場または学校による差別	1	2	3	4	5
3. 医療機関による差別	1	2	3	4	5
4. 地域社会による差別	1	2	3	4	5
5. 知人・友人からの差別	1	2	3	4	5
6. 家族・親族からの差別	1	2	3	4	5

設問 3 ここでは、あなた自身についてお伺いいたします。

問 3-1 あなたの性別をお教えてください。(〇はひとつだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 3-2 あなたの誕生年を西暦・和暦(大正、昭和、平成)のいずれかでお教えてください。(回答は数字で)

西暦	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	1. 大正 2. 昭和 3. 平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年
----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---	-------------------------	----------------------	----------------------	---

↑あてはまるものに〇をつけてください

問 3-3 あなたの現在の結婚状況をお教えてください。(〇はひとつだけ)

1. 未婚	2. 既婚	3. 離死別
-------	-------	--------

問 3-4 あなたが現在同居している方をすべてお教えてください。(〇はいくつでも)

1. 配偶者	7. 既婚の子ども	13. 配偶者の兄弟・姉妹
2. 父	8. 祖父	14. 親族
3. 母	9. 祖母	15. 恋人
4. 配偶者の父	10. 小学生以下の孫	16. 友人
5. 配偶者の母	11. 中学生以上の孫	17. その他
6. 未婚の子ども	12. あなたの兄弟・姉妹	18. 同居なし(一人暮らし)

問 3-5 あなたの最終学歴をお教えてください。(〇はひとつだけ)

1. 大学院(博士・修士)	4. 専門学校	7. 小学校
2. 大学	5. 高等学校	8. その他()
3. 短期大学	6. 中学校	9. 答えたくない

問 3-6 あなたが現在お住まいの都道府県、ならびに市区町村をお教えてください。

都道府県	<input type="text"/>	都道 府県	市区町村	<input type="text"/>	市区 町村
------	----------------------	----------	------	----------------------	----------

問 3-7 あなたの現在の職業をお教えてください。(○はひとつだけ)

1. 会社員 (営業)	16. 専門職 (その他医療)	31. 農林水産
2. 会社員 (事務)	17. 専門職 (福祉)	32. 団体・法人職員
3. 会社員 (販売)	18. 専門職 (保育)	33. 経営 (個人)
4. 会社員 (列挙以外)	19. 専門職 (教師)	34. 経営 (30人以下)
5. 国家公務員	20. 専門職 (動物飼育)	35. 経営 (31-100人)
6. 地方公務員	21. 技術職 (IT関連)	36. 経営 (101人以上)
7. 警察官・消防士	22. 技術職 (電気電子機械)	37. 専業主婦
8. 自衛官	23. 技術職 (建築土木)	38. 家事手伝い
9. 専門職 (コンサルタント)	24. 技術職 (食品)	39. 学生
10. 専門職 (法律会計)	25. 技術職 (化学)	40. 無職
11. 専門職 (金融)	26. 技術職 (医薬)	41. 上記以外の職種 ※具体的にお書きください。
12. 専門職 (不動産)	27. 技能工 (整備製造)	
13. 専門職 (医師)	28. 技能工 (土木電気)	()
14. 専門職 (薬剤師)	29. 運輸・配送	
15. 専門職 (看護師)	30. 警備・清掃	42. 答えたくない

問 3-8 あなたの役職・雇用形態をお教えてください。(○はひとつだけ)

1. 経営者 (単独)	7. 契約社員・職員	13. 左記以外の形態 ※具体的にお書きください。
2. 経営者 (共同)	8. 歩合制	
3. 管理職 (常勤)	9. パートタイム	()
4. 管理職 (非常勤)	10. アルバイト	
5. 正規雇用 (期限無)	11. 日雇い	14. 答えたくない
6. 正規雇用 (期限有)	12. 無職	

問 3-9 以下の質問にお答えください。

問 3-9-1 あなたは肝炎に罹患された時期をご存知ですか。(○はひとつだけ)

1. 知っている (わかっている) →問 3-9-2へ	2. 知らない (わからない) →問 3-9-3へ
--------------------------------	------------------------------

【肝炎に罹患された時期をご存知の方 (=問 3-9-1 で「1」と回答) がお答えください】

問 3-9-2 あなたが肝炎に「(1) 罹患された時期」と「(2) 罹患当時のご職業」を、西暦・和暦 (大正、昭和、平成) のいずれかでお教えてください。(回答は数字で)

(1) 罹患された時期

西暦

--	--	--	--

 年

--	--

 月頃

1. 大正
2. 昭和
3. 平成

--	--

 年

--	--

 月頃

↑あてはまるものに○をつけてください

(2) 罹患当時のご職業

--

【肝炎に罹患された時期をご存じない方 (=問 3-9-1 で「2」と回答) がお答えください】

問 3-9-3 あなたが肝炎感染者であることに気づいた時期を西暦・和暦 (大正、昭和、平成) のいずれかでお教えてください。(回答は数字で)

気づいた時期

西暦

--	--	--	--

 年

--	--

 月頃

1. 大正
2. 昭和
3. 平成

--	--

 年

--	--

 月頃

↑あてはまるものに○をつけてください

次のページにも質問がございます

～最後に～

本調査に最後までご協力をいただき、ありがとうございました。

今後、当研究班は、研究班メンバーによる個別の聴き取り調査（ヒアリング）を企画しております。

（実際の聴き取りはお住まいの地域のホテルや貸会議室等を利用して行う予定です）。

お答えいただいた方の中から、個別の聴き取り調査（ヒアリング）にご協力をいただける方は、お名前とご連絡先をお教えいただけますと幸いです。

なお、記載していただいたお名前、ご連絡先は、当研究班のメンバーがこの聴き取り調査（ヒアリング）を実施するために記載していただくもので、ご返送していただいた調査票の記載者を特定するためのものではありません。

1. 聴き取り（ヒアリング）に協力できない。	2. 聴き取り（ヒアリング）に協力できる。
	お名前 : ()
	ご連絡先 : ()
	<small>※ご連絡先の欄は連絡の取りやすい「電話番号」、「Fax 番号」、「メールアドレス」等をご記入ください。</small>

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入もれが無いかご確認いただき、

同封の封筒をご使用の上、

3月16日（金）までにポストにご投函ください。

韓国調査報告書

川上拓一 久保山力也

01 調査概要

2012年3月11日（日）から3月14日（水）まで、代表龍岡資晃、研究員川上拓一、研究員米澤敦子、協力者久保山力也の4名が、大韓民国ソウル特別市を訪問した。視察箇所は国家人権委員会（ソウル特別市中区：視察①）、キョンヒ大学校法科大学院（ソウル特別市東大門区：視察②）、肝臓を愛する同友会（ソウル特別市麻浦区：視察③）である。

02 調査目的

本調査は、（1）韓国における肝炎患者、特にB型、C型肝炎患者に対する偏見ないし差別状況ならびに、（2）偏見ないし差別が存在する場合、公的領域／私的領域双方における対応について視察し、日本においてガイドラインを作成する際の有益な示唆を得ることを目的とするものである。

視察①、国家人権委員会においては、国家レベルにおける偏見ないし差別実態を包括的にとらえることを目的とする。

視察②、キョンヒ大学校法科大学院では、法曹育成教育、大学院教育において、肝炎もしくは医療にかかわる偏見ないし差別防止のためのプログラムが存在し、提供されているか評価することを目的とする。

視察③、肝臓を愛する同友会では、患者支援団体としての取り組みと準公的あるいは私的支援の現状と問題点を探ることを目的とする。

03 調査の留意点

韓国を対象としたことには、いくつかの理由がある。第1に、地理的な条件がある。第2に、韓国社会の急速な発展、展開がある。第3に、政治主導による、スピーディな制度改編がある。韓国では、朝鮮戦争以降長期にわたり軍事的混乱が続いた。その影響もあり、法制度の制定ならびに改廃に、大変激しい波がある。1990年代の民主化以降は法治主義を掲げているが、「拙速立法」の傾向は依然強い。他方、憲法裁判所制度を導入していることもあり、法制度の不安定性を事後的にケアする「積極司法」が顕著である。

韓国社会は、こうした政治や法制度の事情を強く受け、急激な変化に晒されている。偏見や差別の問題は、法意識や法文化、あるいは市民生活において拡大する格差状況と密接に関わる。そのため、本調査ならびに分析においては、韓国社会の現状を正確にとらえ、評価しなければならない。

本調査は、韓国社会の現状、全てをとらえるものではないが、ある一定の知見を得ることはできたように思われる。日本社会を客観し、俯瞰する上でも、有益な示唆が得られたと考えられる。

04 結果概要と経過

韓国社会の現状

現代韓国において、肝炎偏見差別の問題は、社会問題の一つとして認識されているといえる。しかし、これは深刻な主要争点としてとらえられているわけではない。全体的には、人権擁護の観点から、行政によって取り扱われる傾向にある。他方、司法による救済は、ほとんど見られないという。肝炎偏見差別が焦点化されるケースは、多くの場合、就職問題である。韓国では就職時に企業が健康診断を課し、結果を本人に告知することなく、受診医療機関から直接それを入手し、採用の判断に用いるということが往々にしてなされる。このため、肝炎の罹患がみとめられる場合、事前に企業側がこの情報を元に採用を拒否するという事態が生じ得る。採用拒否が、外形的には企業側の自由意思によるものとされるため、就職希望者サイドでは通常こうした状況を把握し難い。

問題は、就職希望者がなんらかの方法によって、事情を把握した時点で発生する。国家人権委員会は、市民から直接相談を受け、調査や勧告を行う国家機関である。同機関は 2000 年に設立され、広くその存在が知られている。人権差別事件の場合、適切な手続きを経て調査を行うが、差別があったとされる事業所に直接立ち入り調査を実施することもある。また勧告に従わない場合、事業所の名称をマスメディアに公開することも認められている。この開示は制裁の意味合いが強く、現実的にはここに至るまでになんらかの妥協がはかられていく。国家人権委員会は、毎年相当数の事案を扱っているが、そのうち医療事案かつ肝炎差別と見られるケースはそれほど多いわけではない。しかし、医療事案に限ってみると、そのうち肝炎が占める割合は相当数ある。同委員会では、肝炎差別を重大な人権侵害であると考えており、今後も応分の措置をとるといっている。

キョンヒ大学校法科大学院では、将来の法曹に対し、医療紛争を扱うプログラムを設定している。また、刑事手続教育においても、医療事案を取り上げることはあるが、これはアドホックな対応である。韓国社会全般の趨勢において、肝炎差別はかつてほど深刻ではないものの、医療問題ないし人権問題の一環としてはなお憂慮すべき問題である。韓国では以前、肝炎感染を防ぐキャンペーンを国がテレビ等を通じて大々的に行ったことがあり、この際韓国社会独特の風習等が問題視されたという。韓国社会では長らく「人権弁護士」が称揚されており、評価が高い。法科大学院が目指す法曹モデルにおいて、どのような資質が望まれているか、そのプログラムを検討することは、差別防止に向けた長期的な戦略を鑑みる上で必要である。

公の対処に比べ、民間団体の認識ならびに対応はどうか。韓国内最大の関連団体、肝臓を愛する同友会（1999 年設立、オンライン参加者 4 万 9 千人）の認識では、C 型肝炎に対する偏見ないし差別は存在しないが、B 型肝炎には社会的な差別が存在するという。予防接種に対する重厚な公的支援のため、今後問題の収束が見られるであろうという推測はあるものの、現キャリアに対するケアの問題はそれとはまた別個のものである。同友会では、ネットワークを重視し、情報交換を通じてこうした偏見、差別の問題の克服を目指している。直接的な支援もあり得るが、運営費は代表者の個人寄付や支援によるところが大きく、啓発活動、救援活動に限界がある。同友会では、今後も監視活動、情報収集に取り組んでいくという。

以上、本調査では多くの知見を得ることができた。今後、取得したデータと記録の分析を進め、より精緻な報告書をまとめる。また、韓国の諸機関とともに関連調査研究やシンポジウム等を開催する可能性もある。以降、さらに韓国の実態把握に努める必要があると考えられる。

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
「肝炎ウイルス感染者に対する偏見や差別の実態を把握し、
その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究班」

（分担）研究報告書（平成23年度）

肝炎患者の生活実態調査

- 予備調査実施報告 -

研究分担者 田中 純子 広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学

研究要旨

我が国では肝炎ウイルスの持続感染による肝疾患対策を総合的に推進するため、2010年1月肝炎対策基本法が施行され、基本法に基づいた対策推進のために肝炎対策基本指針を公表し、各方面で対策が実施に移されているところである。

肝炎基本法に基づく肝炎総合対策の一環として、わが国では、肝炎ウイルス感染の予防の推進及び患者や感染者がいわれのない差別を受けることのないように正しい肝炎についての知識の普及及び啓発に努めている。しかし、閉鎖的な地域では、いまだに患者に対するいわれなき偏見や差別も根強く存在しているという実情がある。

国民への肝炎の正しい知識および肝炎患者への最新の治療の受療を普及するために、肝炎患者を取り巻く環境の実態調査の実施が不可欠である。これらの実態を受けて、当研究班は全国の肝炎患者を対象に実態調査を行うことになった。

全国調査に先駆けて、平成23年度は広島県を予備調査の対象地区と選定して、広島県肝炎患者を対象に生活実態調査の予備調査を実施した。現在、集計解析中である。

研究協力者

岡馬 重充 広島肝友会 代表（広島県肝友会連絡協議会事務局長）
坂宗 和明 広島大学 疫学・疾病制御学

A. 研究目的

肝炎基本法に基づく肝炎総合対策の一環として、わが国では、肝炎ウイルス感染の予防の推進及び患者や感染者がいわれのない差別を受けることのないように正しい肝炎についての知識の普及及び啓発に努めている。しかし、閉鎖的な地域では、いまだに患者に対する偏見や差別も根強く存在しているという実情がある。

国民への肝炎の正しい知識および肝炎患者への最新の治療の受療を普及するために、肝炎患者を取り巻く環境の実態調査の実施が不可欠である。これらの実態を受けて、全国の肝炎患者を対象に実態調査を行うことを来年度予定しているが、全国調査に先駆けて、予備調査をパイロット県で実施し、得られた結果

から全国調査実施の参考資料及び基礎資料となる。

B. 研究方法

調査対象は、広島県肝友会連絡協議会に加盟している広島肝友会、備後肝友会、三原肝友会の3箇所の全会員497人とした。

調査方法は、無記名自記式で行い、肝炎患者からの調査票の返送をもって同意が得られたと見なした。

調査時期は、2012年1月であった。広島県肝友会連絡協議会から、「生活実態調査票」一式（調査票および返信用封筒）を郵送し、郵便に

より返送されたものを回収した。回収数は262人(回収率52.7%)であった。

調査項目は、「罹患している肝炎ウイルスの種類」、「これまで受けた治療」、「病気が分かった際に困ったこと」、「日常生活に影響する肝炎に対する偏見や差別について」など22設問40項目であった。(調査票添付)

本調査は、広島大学疫学倫理審査委員会の承認を得ている。

C. 研究結果

現在結果を集計解析中である。

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Tanaka J, Koyama T, Mizui M, Katayama K, Matsuo J, Akita T, Nakashima A, Miyakawa Y, Yoshizawa H. Total numbers of undiagnosed carriers of hepatitis C and B viruses in Japan estimated by age- and area-specific prevalence on the national scale. *Intervirology*. 2011; 54(4):185-95.
2. Tomoguri T, Katayama K, Tanaka J, Yugi H, Mizui M, Miyakawa Y, Yoshizawa H. Interferon alone or combined with ribavirin for acute prolonged infection with hepatitis C virus in chimpanzees. *Intervirology*. 2011; 54(4):229-32.
3. Kumada T, Toyoda H, Kiriyama S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamoti A, Tada T, Tanaka J, Yoshizawa H. Predictive value of tumor markers for hepatocarcinogenesis in patients with hepatitis C virus. *Gastroenterol*. 2011; 46:536-44.
4. Sugiya N, Nakashima, Takasugi N, Kawai A, Kiribayashi K, Tanaka J, Endogenous may prevent bone loss in postmenopausal hemodialysis patients. *Osteoporos Int*. 2011; 22:1573-79.
5. 田中純子. 肝癌の疫学と対策. 内科 特集 肝癌診療の最前線-知っておきたい診断・治療の新情報-. 2012;386-392.
6. 田中純子. 肝炎ウイルスの感染予防について. *ガイドライン/ガイダンス 慢性肝炎*. 2011;14-19.
7. 田中純子, 片山恵子. II. C型肝炎 我が国におけるC型肝炎の疫学-国際比較を含めて-. 新時代のウイルス性肝炎学. 2011;15-22.
8. 田中純子, 松尾順子. III. B型肝炎 我が国におけるB型肝炎の疫学-国際比較を含めて-. 新時代のウイルス性肝炎学. 2011;327-334.
9. 松尾順子, 田中純子. C型肝炎ウイルスキャリアの慢性肝炎発症率. *日本医事新報*. 2011;50-51.
10. 田中純子, 片山恵子. B型肝炎 C型肝炎の疫学. *Medical Practice*. 2011;1347-1353.

2. 学会発表

1. Tanaka J. Infectivity of HBV. IPFA/PEI International Workshop on "Surveillance and Screening of Blood Borne Pathogens". Dublin. 2011
2. Matsuo J, Okita H, Mizui M, Katayama K, Tabuchi A, Akita T, Nakashima A, Tanaka J, Hiroshima Hepatitis Study Group. Progress of liver disease in hepatitis C virus carriers found at the blood donation and its outcomes : 18-year cohort study on 1021 carriers. 46th Annual Meeting of the European association for the study of the Liver. Berlin. 2011
3. Fujimoto M, Matsuo J, Tabuchi A, Katayama K, Nakashima A, Akita T, S.H.Do. Tanaka J. Study on hepatitis viral infection among general population in Cambodia. Asian Pacific Association for the Study of the Liver 2011. Bangkok. 2011
4. 田中純子. 感染を知らないまま潜在している肝炎ウイルスキャリアの推計について. 第39回日本肝臓学会西部会. 岡山. 2011
5. 片山恵子, 松尾順子, 秋田智之, 田中純子. 肝炎ウイルス持続感染と血液透析患者の予後についての解析の試み. 第39回日本肝臓学会西部会. 岡山. 2011
6. Son D.H., Svay S, Fujimoto M, Goto N, Tabuchi A, Matsuo J, Katayama K, Tanaka J. The sero-epidemiological pilot study on the prevalence of hepatitis viral infection among school students in Cambodia. 第9回日本予防医学学会学術総会. 東京. 2011
7. 藤本真弓, 松尾順子, 郷裕子, 片山恵子, 藤井紀子, Do Huy Son, SVAY SOMANA, 田中純子. カンボジア王国における肝炎ウイルス感染状況把握のための血清疫学調査研究-チュレイ村住民に対する調査結果-. 第9回日本予防医学学会学術総会. 東京. 2011
8. 松尾順子, 片山恵子, 秋田智之, 田中純子. 肝炎ウイルス検査に関する聞き取り調査及び肝炎ウイルス検査後の動向調査の成績. 第15回日本肝臓学会大会. 福岡. 2011
9. 片山恵子, 松尾順子, 秋田智之, 田中純子. In-vivoにおけるHBs抗体の感染阻止能定量の試み-ヒト肝細胞置換キメラマウスを用いた受動免疫後のHBVgenotypeAの感染実験. 第15回日本肝臓学会大会. 福岡. 2011

生活実態調査2011

この調査は、肝炎患者が日ごろどんなことに困っているか、これまでに肝炎患者としてどのような悩みや困ったことがあったか、治療状況はどうかなどを含めた日常生活の実態を把握するために行われるものです。

厚生労働省 難病・がん等の疾患分野の医療の実用化事業「肝炎ウイルス感染者に対する偏見・差別の実態解明とその防止を目的とするガイドライン作成のための研究」班（研究代表者 学習院大学法科大学院教授 龍岡資晃）では、全国の肝炎患者を対象とした生活実態調査を来年度実施する予定になっています。

その予備調査として、研究班分担研究者である田中は、会員ボランティアメンバーと協力し、広島県肝友連絡協議会（広島肝友会、備後肝友会、三原肝友会）の会員をモデルとしたプレアンケート調査を実施します。この調査により得られた結果は、平成24年度に実施予定の全国の肝炎患者を対象とした生活実態調査の参考資料となる予定です。

今回の調査の実施と集計解析に関しては、広島大学疫学研究倫理審査の承認を得ています。

患者目線からの生活実態を把握するため、踏み込んだ質問内容になっています。お答えにくい場合はお答え頂かなくてもかまいませんが、できるだけ回答をお願いします。

調査は無記名で行いますので、個人が特定されることはありません。また調査結果は、集計された形で公表されますので、個人が特定されることはありません。

ご協力をよろしくお願いいたします。

2012年2月

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・疾病制御学 教授 田中 純子
広島県肝友会連絡協議会 事務局長 岡馬 重充